

令和 7 年 度

社会福祉法人カルスト会事業報告

令和 7 年度は、役員及び評議員の改選年度にあたり、法令に基づき適正に事務手続きを行い、円滑に改選を実施した。事業経営では、社会福祉法人としての公益性を確保しつつ、安定した事業運営と利用者への継続的な福祉サービスの提供に努めた。また、利用者の確保は人口減少が地元でも顕著な中で、近隣地域や隣接する県外の市町からの入所申込があり、広域的な利用につながった。人材確保については、外国人材の受け入れに向けた準備を進め、特定技能及び技能実習生を令和 8 年度内に雇用する見込みとなり、人手・人材不足の点では事業運営体制の安定化につながった。更に、外国人材の受け入れに向け、各施設に技能実習管理者及び指導者を配置できる体制を整備した。職員宿舍建設については、計画どおり工事が進捗しており、令和 8 年 8 月末に完成する見込みです。また、収益事業である職員宿舍管理事業について、定款変更、法人登記、会計区分及び収支予算の整備を行い、事業開始に向けた体制を構築した。

財務に関係しては、ガバナンスの強化、健全性の確保、情報公開の遵守など関係法令に基づき適切に行った。今後は、中長期事業運営計画・人材育成計画にも照らし、総合的なマネジメント機能のある事業運営体制の構築を進めるとともに、適所適材の人材育成を目指し取り組んでいきます。

各事業運営に関しては、梶原みどりの家拠点区分では、利用稼働率は前年度を下回ったものの、事業活動収支差額は当初見込みを上回る結果となった。このことは、令和 7 年度の報酬改定及び定員変更による基本報酬のアップが増収に影響した。

梶原ふじの家拠点区分では、待機者数及び利用者数の減少が想定以上にあり、収入は当初の見込みより減収となった。今後も安定した事業運営とサービス提供の維持、継続に向け、事業運営体制全般の見直しや調整などの課題について、協議、検討して行きます。

事業運営全般に関し、昨今の経済状況により物価やエネルギー価格の高騰のほか、主要な設備機器、業務委託、メンテナンスに係る経費は高止まりしていることや、サプライチェーンの不安定化の危惧もあり、引き続き厳しい経営環境にあります。事業経費については費用対効果、コスト削減を基に、予算管理の徹底及び計画的な執行に取り組んで行きます。

令和 9 年度より設置が義務化される「生産性向上委員会」については、指針を策定し、令和 7 年 4 月より委員会を両施設に設け、業務ミーティングについても計画的に実施した。これにより、介護職員等処遇改善加算に係る職場環境要件を満たす体制の強化を図った。生産性向上の取り組みについては、数値的な評価・検証に加え、利便性や職場環境の充実性、職員満足度など多面的な視点も重要であり、多様な意見を取り入れながら、継続的に取り組んで行きます。

感染症対策については、流行期に限らず日常的な予防策を継続し、安全衛生委員会において産業医の助言や医療情報を踏まえた対応などについて協議した。

残念ながら、令和 7 年 7 月から 8 月にかけて、梶原みどりの家及び梶原ふじの家において利用者及び職員に感染者が拡大し、両施設においてクラスターとなった。このことにより、行事開催の延期ほか、施設への出入りや面会の制限を実施することになり利用者及びご家族、関係者には大変ご不便をお掛けしました。

1. 組 織

1) 理事名簿

令和 8 年 3 月 31 日現在

	役 職	氏 名	住 所	職業等	就任年月日
1	理事長	熊 岡 健			R5.6.19
2	理 事	空岡 則明			H23.4.1
3	〃	岡 田 量			H27.4.1
4	〃	岩崎 悦子			H29.4.1
5	〃	掛橋健一郎			R3.6.17
6	〃	川上 博明			R5.6.19

2) 監事名簿

令和 8 年 3 月 31 日現在

	氏 名	住 所	職業等	就任年月日
1	西村 建雄			R3.6.17
2	下村 昌彦			R5.6.19

3) 評議員名簿

令和 8 年 3 月 31 日現在

	氏 名	住 所	職業等	就任年月日
1	西村 正義			H29.4.1
2	松山 栄喜			H29.4.1
3	中越 計清			H28.5.25
4	宮本 友和			H27.4.1
5	沖田 佳久			H29.4.1
6	中越 祥恵			R4.6.9
7	上川 和恵			R7.6.17

4) 職員構成

令和 8 年 3 月 31 日現在

施設名等 職名	本部	居宅介護	椿原みどりの家	特定相談	椿原ふじの家	合計
事務局長	(兼 1)					1
所属長・所長		(兼 1)	(兼 1)	(兼 1)	1	4
事務員	4					4
介護支援専門員		2 (兼 1)			2 (兼 1)	4
相談支援専門員				(兼 1)		1
サービス管理責任者			2 (兼 1)			2
生活相談員					(兼 2)	2
生活支援員			1			1
看護師			2		4 (臨時 1)	6
機能訓練指導員			(兼 1)		1	2

管理栄養士					1	1
栄養士			1			1
介護員			29 (嘱託 2) (臨時 9)		31 (嘱託 1) (臨時 10)	60
計 (兼務含む)	5	3	37	2	42	89

2. 理事会・理事定例会・評議員会

(1) 理事会開催状況

回	月 日	審 議 内 容	出席者数	
			理事	監事
1	令和 7 年 5 月 30 日	・ 令和 6 年度事業報告及び決算の承認について ・ 令和 7 年度カルスト会本部予算の補正について ・ 令和 7 年度居宅介護支援事業所予算の補正について ・ 令和 7 年度特定相談支援事業所予算の補正について ・ 令和 7 年度特別養護老人ホーム梶原ふじの家予算の補正について ・ 就業規則の一部改正について ・ 育児・介護休業に関する規則の一部改正について ・ 理事・監事の候補者について ・ 評議員候補者の推薦について ・ 評議員会の招集について	6	1
2	令和 7 年 6 月 17 日	・ 理事長の選定について ・ 評議員選任・解任委員の選任について	6	2
3	令和 7 年 9 月 2 日	・ 定款の一部変更について ・ 職員宿舎建設工事の契約締結について ・ パソコン更新に伴う指名競争入札について ・ 就業規則の一部改正について ・ 定款施行細則の一部改正について ・ 令和 7 年度第 2 回評議員会の招集について	6	2
4	令和 7 年 10 月 23 日	・ 令和 7 年度カルスト会本部予算の補正について ・ 令和 7 年度居宅介護支援事業所予算の補正について ・ 令和 7 年度障害者支援施設梶原みどりの家予算の補正について ・ 令和 7 年度特別養護老人ホーム梶原ふじの家予算の補正について	6	2
5	令和 8 年 3 月 18 日	・ 定款の変更について ・ 定款施行細則の一部改正について ・ 経理規則の一部改正について ・ 給与規則の一部改正について ・ 就業規則の一部改正について ・ 臨時職員就業規則の一部改正について	6	1

		・パートタイム職員就業規則の一部改正について ・職員の処遇改善等交付金支給規程の制定について ・令和7年度カルスト会本部予算の補正について ・令和7年度居宅介護支援事業所予算の補正について ・令和7年度障害者支援施設栲原みどりの家予算の補正について ・令和7年度特定相談支援事業所予算の補正について ・令和7年度特別養護老人ホーム栲原ふじの家予算の補正について ・令和8年度カルスト会本部事業計画及び当初予算の承認について ・令和8年度居宅介護支援事業所事業計画及び当初予算の承認について ・令和8年度障害者支援施設栲原みどりの家事業計画及び当初予算の承認について ・令和8年度特定相談支援事業所事業計画及び当初予算の承認について ・令和8年度特別養護老人ホーム栲原ふじの家事業計画及び当初予算の承認について ・令和8年度職員宿舍管理事業当初予算の承認について ・令和7年度第3回評議員会の招集について		
--	--	--	--	--

(2) 評議員選任・解任委員会の開催

令和7年6月6日

(3) 理事定例会の開催

①令和7年4月24日、②令和7年7月24日、③令和7年11月27日

④令和8年1月22日、⑤令和8年2月26日

(4) 評議員会開催状況

回	月 日	審 議 内 容	出席者数
1	令和7年 6月17日	【定時評議員会】 ・令和6年度事業報告及び決算の承認について ・理事・監事の選任について	7名 理事1名 監事2名
2	令和7年 9月10日	・定款の一部変更について	6名 (欠席1名) 理事1名 監事2名
	令和8年 3月27日	・定款の変更について ・令和8年度本部事業計画及び当初予算について ・令和8年度居宅介護支援事業所事業計画及び当初予算について	7名 理事1名 監事1名 (欠席1名)

		・令和 8 年度障害者支援施設栲原みどりの家事業計画及び当初予算について ・令和 8 年度特定相談支援事業所事業計画及び当初予算について ・令和 8 年度特別養護老人ホーム栲原ふじの家事業計画及び当初予算について ・令和 8 年度職員宿舍管理事業当初予算について	
--	--	--	--

3. 内部監査等

- ①決算監査 令和 7 年 5 月 20 日
- ②内部監査 令和 7 年 7 月 17 日（第 1 四半期）
 令和 7 年 10 月 16 日（第 2 四半期）
 令和 8 年 1 月 15 日（第 3 四半期）
- ③高知県地域福祉部福祉指導課による監査
 特別養護老人ホーム栲原ふじの家 … 令和 7 年 7 月 23 日

令和7年度 カルスト会居宅介護支援事業所 事業報告

平成16年4月から21年間に亘り、梶原町保健福祉支援センター（保健福祉課）において事業を行っていたが、本年度から事業所を広野に移転した。また、11月からは指定介護予防支援事業者として事業を開始し、当事業所にとって心機一転の年度となった。移転当初は利用者からの戸惑いの声も聞かれたが、都度、梶原町保健福祉課や梶原病院に足を運ぶなど関係機関と連携し、利用者へのサービス低下とならないよう取り組んだ。

本年度の請求件数は、昨年度641件から微増の649件（介護予防を含む）となった。また、新規利用者数については、昨年度の24名に対し55名と31名の増加となった。減少数は、施設入所や死亡などにより昨年度の47名から30名となった。

介護予防支援事業については、徐々に利用者が増えてきており、11名の新規利用となっている。当事業所が介護予防支援事業を担うにあたっては、メリットとして、要介護から要支援、要支援から要介護に認定が変更になった際も担当者が地域包括支援センターに代わることなく、継ぎ目のないサービスが提供できることがあります。

サービス種別におけるケアプラン作成件数については、例年通りデイサービス、福祉用具貸与を利用する方が多い状況が続いており、訪問系サービスは低調で推移している。

現在介護保険の申請や利用にあたり個人番号が必要になっている上で、個人番号カード（電子証明書）の更新の時期が来ている方がおり、ご家族からの依頼により本人確認の顔写真証明書の申請手続きの支援は好評をいただいた。

（1）要介護度別ケアプラン作成状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計 (内支援)
R7 4月			15	19	5	4	1	44
5月			17	20	5	4	1	47
6月			18	20	6	6	1	51
7月			19	20	6	6	1	52
8月			21	20	7	4	1	53
9月			21	21	7	4	1	54
10月			22	21	5	4	1	53
11月	(0)	(1)	22	20	6	3	1	52 (1)
12月	(2)	(6)	20	18	6	3	1	48 (8)
R8 1月	(1)	(6)	23	18	6	2	2	51 (7)
2月	(2)	(6)	26	15	9	3	1	54 (8)
3月	(4)	(6)	29	13	9	4	1	56 (10)

計	(9)	(25)	253	225	77	47	13	615 <u>51.3人/月</u> (34) <u>6.8人/月</u>
---	-----	------	-----	-----	----	----	----	--

(令和 6 年度実績 居宅介護支援／平均 53.4 人)

(2) 利用者状況 (前年度末 48 人)

区分	性別	R7 4	5	6	7	8	9	10	11	12	R8 1	2	3
新規利用者 (55 人)	男		2	1	3	1	1	1		6	2	3	1
	女	2		5	1	3	4	1	2	2	3	5	6
利用終了 (30 人)	男	2		1	1		2	2		1		1	
	女		1	2		4	2	1	2	2	2	1	3
月末契約者数		48	49	52	55	55	56	55	55	60	63	69	73

令和7年度 障害者支援施設梶原みどりの家事業報告

令和7年4月より定員は60人となり、利用稼働率は生活介護及び施設入所支援について1日当たり54.8～54.9人で推移した。事業収入は前年度対比約108%となり、令和7年度報酬改定及び定員変更に伴う基本報酬単位の上昇により増収につながった。利用者数は、年度当初58人から年度末57人となり、退所者4名、入所者3名の変動であった。

職員の確保については、常勤職員を1人新たに採用した一方で、介護員と介護助手の2人の退職があった。経過的に職員から地元や近隣の人材情報提供により職員の確保は一定できていたが、現在では通勤圏域からの情報や応募はほとんどなく厳しい状況にある。この状況を踏まえ、令和9年度の外国人人材受入れに向け、技能実習責任者及び技能実習指導者の講習受講を受けたほか、令和8年度に受け入れ予定の特定技能人材についても準備を進めた。

事業運営に関しては、日中一時支援について、梶原町、学校、家族との調整後、障害児の利用を開始した。令和8年度から義務化となる障害者の意思決定支援（地域移行等意向確認）については先駆的に取り組み、サービス担当者会議やケア会議と連動した体制整備を進めた。また、生産性向上委員会の機能強化により、現場の意見集約や業務ミーティングの充実を図り、職場環境の改善につなげた。高齢化する職員構成を踏まえ、業務分担の明確化や見直しと共に労働災害防止や業務負担の軽減に取り組み、労働環境の充実に努めた。

地域連携推進会議については、令和7年11月に第1回会議を開催し、施設見学、事業運営状況の説明、施設の昼食提供の内容で実施した。委員からは、限られた職員数の中での柔軟な対応や負担軽減の工夫をしているなどの評価と参考意見が寄せられた。

施設行事・活動については、4月に計画した行事「新緑の宴」は、利用者にかぜ症状者が増えていることから、感染対策を強化している中で開催中止となった。行事「涼みの集い」では地域から多数の来場があり、出店や出演では多くの関係者の協力をいただいた。尚、7月初旬にコロナ感染者が利用者及び職員に拡大し、結果、クラスター報告を須崎福祉保健所に行うことになったが、その他の行事・活動については、一定の感染対策を講じた上で、概ね例年どおり実施した。また、日中活動の一環としての個人外出については、介護タクシーを利用し町外等へ出掛けるニーズは増えており、施設独自のサービスとして今後も継続して支援して行きます。

防火防災に関しては、5月及び10月に地震・火災・施設損壊・土砂災害等を想定し、停電・断水も実際に行い、夜間訓練と一日訓練を実施した。また、訓練の振り返りや各種マニュアル、BCPの見直し、机上訓練も別に実施し、備蓄内容の再検討や見直しも行った。施設の立地位置は高知県防災マップの更新上、一部が土砂災害警戒区域に該当しており、避難経路及び避難場所の見直しが必要となった。また、水防法及び土砂災害防止法並びに梶原町地域防災計画に基づく訓練実施報告書は、遅滞なく梶原町に提出した。

1. 入所者状況

在籍者数	性別	前年度末	R7 4	5	6	7	8	9	10	11	12	R8 1	2	3
人数 (月末)	男	35	35	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	36
	女	23	23	23	22	22	22	21	22	22	22	22	21	21
合計		58	58	57	56	56	56	55	56	56	56	56	55	57
内訳	入所	男	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		女	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	計		3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	退所	男	▲1	0	▲1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	▲3	0	0	▲1	0	0	▲1	0	0	0	▲1	0
	計		▲4	0	▲1	▲1	0	0	▲1	0	0	0	▲1	0
増/減(▲)		▲1	0	▲1	▲1	0	0	▲1	1	0	0	0	▲1	2

(1) 退所者

市町村	性別	退所日	備 考
宇和島市	男	5/12	入院に伴い施設復帰見込めず療養病床へ
宿毛市	女	6/6	転所（障害者支援施設）
小牧市	女	9/1	死亡
須崎市	女	2/21	死亡

(2) 入所者

市町村	性別	入所日	備 考
津野町	女	10/1	転所
津野町	男	3/4	在宅生活から
四万十町	男	3/6	転所

(3) 利用状況

令和7年4月～令和8年3月

事業名		定員充足率		利用稼働率
生活介護	R7	定員 60 人	R7	91.3% (54.8 人/日)
	R6	定員 80 人	95.0% (57 人)	72.4% (57.9 人/日)
施設入所支援	R7	定員 60 人	R6	91.5% (54.9 人/日)
	R6	定員 80 人	72.5% (58 人)	72.5% (58.0 人/日)
短期入所	R7	定員 5 人		16.9% (0.9 人/日)
	R6	定員 8 人		4.1% (0.3 人/日)

(4) 日中一時支援事業

市町村	人数	利用日数	備 考
梶原町	2 人	173 日	障害児（7 歳、13 歳）

令和 7 年度

カルスト会特定相談支援事業所事業報告

令和 7 年度末の契約者数は 61 件となり、施設退所者や個人の意向によるサービス利用終了により、年度当初から 5 件減少した。今後新たな契約者の見込については、現に施設入所者で、給付決定市町の計画相談支援事業所の支援を受けている入所者について、当事業所への移管の相談が数件あり、契約上の基準や個別事情に照らし、適切に判断して行きます。

定期のモニタリング等においては、適切な評価の実施と情報収集に努め、計画等に反映した。特にグループホームや地域生活をしながら通所している障害者の高齢化、障害の重度化、自身の考えや思い、地域の限られたインフラ事情などにより、サービス利用継続支援において調整困難や悩ましい実態が出て来ている。障害者本人の意思を大切にし、配慮した対応が求められるが、多様性の尊重のもと支援の限界とも言える例もあった。

サービス担当者会及び意思決定支援会議への出席及び対応は適切に行い、非常時等の連絡体制については、事業所の連絡網への登録や、施設において体制化している職員ライングループへの担当者登録を行い、連絡・情報共有の体制化を図った。

1. 利用契約・サービス利用計画・モニタリングの実績

◇相談支援契約（前年度末：66 件）

	契 約		サービス利用計画			モニタリング			備考
	新規	解約	入所者	地域	計	入所者	地域	計	
R7 4 月	0	0	1	1	2	7	4	11	
5 月	0	施設 ▲1	0	0	0	4	0	4	退所 1 名
6 月	0	施設 ▲1	4	1	5	17	4	21	転所 1 名
7 月	0	0	1	0	1	6	1	7	
8 月	0	0	1	0	1	3	1	4	
9 月	0	施設 ▲1	0	0	0	10	3	13	退所 1 名
10 月	0	0	3	0	3	5	3	8	
11 月	0	0	0	2	2	8	0	8	
12 月	0	地域 ▲1	0	0	0	11	4	15	契解 1 名
R8 1 月	0	0	6	0	6	4	0	4	
2 月	0	施設 ▲1	1	0	1	1	1	2	退所 1 名
3 月	0	0	1	0	1	10	2	12	
合計	0	▲5	18	4	22	86	23	109	

令和7年度 特別養護老人ホーム梶原ふじの家 事業報告

施設改修工事を令和7年3月に終え、明るく快適な環境で生活できるようになり、利用者やご家族から喜びの声が寄せられた。また、新たに導入したスマートフォン型ナースコール設備は、発信場所を即時に確認できるようになったことで、職員の業務動線や夜勤帯の見回り時間の短縮、利用者の行動把握がよりの確に行えるようになったことは、業務の効率化と職員の負担軽減につながった。また、施設事故の内、骨折事故は昨年度の8件から今年度は3件に減少し、行政へ報告した事故件数は13件から5件となり大幅に減少した。このことは、サービス提供体制の安全性の向上につながった。

今年度より設置した生産性向上委員会は、業務ミーティングを通じ、職員アンケートによる意見収集を重視し、委員会ではその意見等について整理、検証した上で、県の委託事業として介護労働安定センターが実施する「生産性向上伴走支援」を活用しながら、現場の業務課題等に取り組んだ。この結果、段階的ではあるものの、業務改善や生産性向上の面で一定の成果や結果が見られるようになった。

事業運営については、4月当初から10床以上の空床が続く厳しい状況であった。8月には西予市と鬼北町社協を訪問し入所者の確保に努めた結果、4名の新規入所があった。また、四万十町内の介護保険事業所2施設の閉鎖に伴い3名の入所があり、12月から1月にかけて空床は7床まで改善した。しかしながら、地元の申込者数は減少傾向にあることや退所者もあったことから、今年度の利用稼働率は80.9%、1日当たり59人の利用実績となった。短期入所については、感染症流行時期の利用控えは例年ある中で、12月から予防策を強化し、利用受け入れ体制を維持した。短期入所利用についても利用者数の減少があり、今年度の利用稼働率は48.4%、1日当たり3.4人の利用実績となった。今後についても利用者の確保は厳しい状況が続くと見込まれますが、行政や関係機関と連携しながら、安定した事業運営を目指して行きます。

職員の確保については、看護師1名が個人事情により年度途中で退職し、介護員では体調不良により1ヵ月以上の長期休職者が2名あったほか、介護休業を1名が取得した。事業運営体制としては法基準以上の職員配置はできているものの、勤務する職員で協力し合い、サービス提供体制を維持した。また、12月には技能実習生の現地面接をフィリピンに渡航し行った。結果、3名の内定者を確保でき、令和8年10月の配属に向け準備を進めて来た。技能実習生に関しては、令和9年度に梶原みどりの家への配属予定があり、指導・育成に関することや、日本語教育、生活支援に関することを含め両施設で連携し合う体制の整備、配属までに他施設の見学を計画するなど準備して行きます。

施設行事・活動については、8月に朝日新聞厚生文化事業団の訪問事業として、俳優の日系ともゑさんと音楽ユニット「マリオネット」による朗読と演奏が施設で行われ、利用者の皆様から大変好評をいただいた。また、「敬老会」、「誕生会」は計画的に実施し、参加いただいた皆様に喜んでいただくことができた。

1. 利用者状況

(1) 市町村別入退所状況・年度末入所者数

単位：人

区 分 市町村	入 所			退 所			令和 8 年 3 月末		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
梶原町	6	14	20	7	17	24	9	41	50
南国市	0	0	0	0	0	0	0	1	1
津野町	1	0	1	0	2	2	1	0	1
西予市	1	1	2	1	0	1	2	3	5
宇和島市	0	0	0	0	0	0	0	1	1
鬼北町	1	1	2	0	0	0	1	2	3
四万十町	2	0	2	1	0	1	1	0	1
須崎市	0	1	1	0	0	0	0	1	1
計	11	17	28	9	19	28	14	49	63

(2) 介護度別一覧

要介護度 3	18 人	令和 7 年度 平均介護度 3.81 (令和 6 年度 平均介護度 3.71) 令和 7 年度 年間在所延日数 21,565 日 (令和 6 年度 年間在所延日数 24,875 日)
要介護度 4	39 人	
要介護度 5	6 人	

(3) 入院・外泊等状況（請求ベース）

	令和 7 年度	令和 6 年度
延べ利用日数	799 日	1,186 日
月 平 均	66.6 日	98.8 日
1 日当り	2.2 人	3.2 人

(4) 入退所状況

単位：人

入所	自宅より	7	
	病院より	13	梶原病院(10)・一陽病院(1)・愛宕病院(1)近森リハビリテーション病院(1)
	他施設より	8	ケアハウスゆるり(2)・老健アザレア(2)・老健つくし苑(2)・四万十ピア(1)・どんぐりホーム(1)
	計	28	
退所	死 亡	27	梶原病院(13)・宇和島徳洲会病院(1)・高知赤十字病院(2)・施設看取り(11)
	その他	1	梶原病院入院継続希望(1)
	計	28	

令和 8 年 3 月 31 日現在

(6) 短期入所利用状況

[illegible]